

ポケットティッシュデータ作成の注意点

Ai イラストレータでのデータ作成時 **対応バージョン** Creative Cloud(CC) まで

Adobe Illustratorでのデータ作成注意点

01. Illustratorで画像をリンクしている場合は、リンク画像も一緒にデザインデータのフォルダに入れて入稿してください。
02. 弊社に無いフォントの場合、意図していないフォントに置き換わったり文字が化けてしまったりするため、テキストは必ずアウトライン化してください。
03. パターンのアウトライン化がされていない場合、印刷データへの変換時に絵柄が崩れる可能性があるため、パターンは必ずアウトライン化してください。
04. テキストを打った時にできる余分なアンカーポイント(孤立点)は削除してください。
05. データの総インキ量を380%以内にしてください。(総インキ量が高いとインキ剥がれの原因となります。)
06. 断裁ラインの天地左右に各3mmの塗り足し分を必ず作成してください。
(※色が断裁ラインギリギリに配置されている場合、断裁時に白いフチができてしまう可能性があるため、断裁ラインの外側にまで色を塗り足します。)
07. 不必要なオーバープリントがかかっているか、確認をしてください。
(※不必要なオーバープリント設定がかかっている場合、意図していない色味に変わってしまったり、オブジェクトが印刷に反映されない恐れがあります。)
08. カラーモードをRGBからCMYKに変換してください。モニター上で見た色と印刷した際の色との再現が大きく異なります。
09. 塗りで作られた細い線は、モニター上で見えていても、印刷時に消えたり消えたりするため必ず線で作成してください。
10. 保存時にバージョンを下げないでください。(作成していたデータと保存したデータに違いが出てしまうので、ミスのもとになります。)
11. データの保存形式はai形式かeps形式にしてください。

Ps フォトショップでのデータ作成時 **対応バージョン** Creative Cloud(CC) まで

Adobe Photoshopでのデータ作成注意点

01. 印刷物で十分な品質を確保するためには画像解像度の確認をしてください。
フルカラーの画像データは、原寸サイズで300～350dpiの解像度が必要となります。
グレースケールやモノクロ二階調の画像データは、原寸サイズで600～1200dpiの解像度が必要です。
02. レイヤーの表示非表示により、印刷されないレイヤーがある等のトラブルの原因になる可能性があるため、作業中に作成した印刷に使用する全てのレイヤーは、一枚の背景レイヤーに統合してください。またこれを行うと、フォントもラスターライズされ、フォントのアウトライン作成は必要ありません。
03. データの総インキ量を380%以内にしてください。(総インキ量が高いとインキ剥がれの原因となります。)
04. カラーモードをRGBからCMYKに変換してください。モニター上で見た色と印刷した際の色との再現が大きく異なります。
05. データの保存形式はpsd形式かeps形式にしてください。

Office Office系ソフトでのデータ作成時

Office系ソフトでのデータ作成注意点

Office系アプリケーションは、そのままだesignデータでは印刷することはできません。データを変換することで、印刷を可能にしています。この変換時に色合いの変化やレイアウトの崩れなどが起きますので、以降ご説明する点を注意してデザインデータを作成してください。

下記4項目の問題点に関しましては、制作環境および対応フォントの違いにより発生するものです。

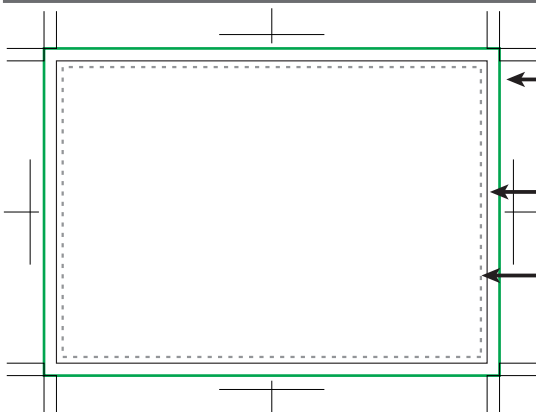
色合いやレイアウトが変わっていないか確認を行う為、デザインデータの入稿と併せて最終原稿をPDFにてお送りください。

01. 弊社にないフォントを使用されている場合、データ変換後に異なるフォントに置き換えられます。
02. データ内の文章中に、意図しない改行が発生してしまう場合があります。
03. 透明効果を使用しているデザインデータの場合、正常に変換が行なえません。
Officeアプリケーション固有の機能に依存する効果は失われることもあります。
04. Office系データのカラーモードはRGB形式であり、オフセット印刷のカラーモードのCMYK形式に変換すると色合いが変わることがあります。
RGB特有の蛍光色のような色はかなりくすむこともあります。

※【注意】問題が100% 解決する訳ではありません。変換後の校正PDFファイルをメールでお送りいたしますので必ずご確認ください。

※Office系データを変換の際、弊社にてデータ修正が必要な場合は別途料金が発生する場合がございます。

テンプレートデータについて(例)ラベル印刷



印刷サイズ(塗り足)

断裁位置いっぱいにはデザインする場合は、印刷サイズまで塗り足し(断裁ライン+天地左右 各3mm)を付けてください。

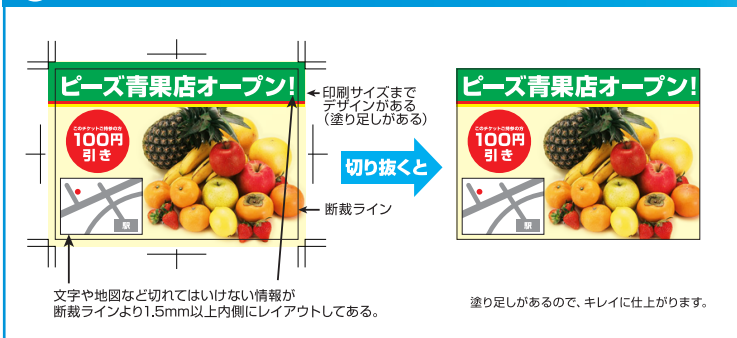
断裁ライン

切り抜きラインです。ラベル、チラシの仕上がり位置です。

点線内は文字の印刷範囲

文字は断裁ラインから1.5mm以上内側にレイアウトしてください。
断裁ラインより1.5mm外側に文字や地図などがあると、紙を断裁する加工段階で文字などが切れてしまう恐れがございます。

○ 良い例



× 悪い例

